

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【公表番号】特表 2018-532242 (P2018-532242A)

【公表日】平成 30 年 11 月 1 日 (2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-042

【出願番号】特願 2018-521591 (P2018-521591)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/64 (2006.01)

H 0 1 R 24/38 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 13/64

H 0 1 R 24/38

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 15 日 (2019.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コネクタであって、

実質的に円筒形の形状のソケット (1) と、

該ソケット (1) に着脱可能に接続可能であり、複数の接点 (3) が配置されているプラグ (2) と

を含み、

ソケット (1) は、導電面 (4) を含み、該導電面上または該導電面内に、中心 (6) が導電面 (4) の中心と実質的に一致する少なくとも 1 つの円弧を形成する少なくとも 1 つの導電トラック (5) が配置され；前記トラック (5) は、さらに、前記接点 (3) のうちの 1 つとの機械的電氣的接続を可能にするように配置され；

コネクタにおいて、各接点 (3) は、他の接点とは独立して軸方向に移動するように取り付けられ；該接点は、可撓性の膜を通して配置され；前記膜は、密封性であり；

該コネクタは、各接点に戻り力を及ぼすための機構、および、各接点に個別の圧力を及ぼすことを可能にするソケット (1) の方向に向かう戻り機構をもたらし弾性要素を含み；前記弾性要素は膜 (9) により形成される、

前記コネクタ。

【請求項 2】

同心に配置される少なくとも 2 つの円形導電トラック (5) を含む、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

プラグ (2) は、屈曲している、請求項 1 または 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

プラグ (2) は、ソケット (1) 周りで自由に回転するように接続可能である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のコネクタ。

【請求項 5】

プラグ (2) は、ソケット (1) 周りに限られた数の向きに従って接続可能である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のコネクタ。

【請求項 6】

コネクタ(3)は、導電面(4)の表面に非対称に分配される、請求項1～5のいずれか1項に記載のコネクタ。

【請求項 7】

プラグは、いくつかのプラグ/ソケットの積み重ねを可能にする「ソケット」部材を含む、請求項1～6のいずれか1項に記載のコネクタ。

【請求項 8】

プラグは、コネクタにおけるプラグ差し込みのロックングおよび/または確認(acknowledgement)をもたらすばねリング(11)を含む、請求項1～7のいずれか1項に記載のコネクタ。

【請求項 9】

リングは、接続時ソケットの溝(13)に収容されるボール(12)上に支承される、請求項1～8のいずれか1項に記載のコネクタ。

【請求項 10】

ソケットは、固定要素により外部デバイスに固定され、かつ、デバイスと直接相互接続するか、またはソケットに溶接されデバイスとインターフェースする電気回路を介して相互接続する、接点(8)によりデバイスに接続される、請求項1～9のいずれか1項に記載のコネクタ。